第二中学校だより

正（しく）強（く）美（しく）

青梅市立第二中学校
令和５年５月２９日

５月末を迎えて（１学期も約半分を終えました）

校長　青山　隆志

新型コロナウイルスも感染症の分類が２類から５類となり、制約などもだいぶ緩和されてきました。校内でもマスクの着用が個人の判断となりましたが、部活動などの時を除いて、90％以上の生徒がマスクの着用を続けているようです。私自身は、いつでも着用できるよう常にマスクを携帯しながら、密にならない状態ではマスクを外すようにしていますが、気温もだいぶ高くなってきました。運動会に向けての練習も始まりました。健康・安全のためのマスクが熱中症を引き起こしたりしては本末転倒なので、運動をするときなどは積極的に外してもよいのではないかと思います。どちらにしろ、マスクの着用の有無が同調圧力や差別、偏見につながることのないように、生徒だけではなく、我々教師も言動には細心の注意を払っていきますので、よろしくお願いいたします。

◎　生徒総会

１９日（金）に生徒総会を実施いたしました。昨年度までは校内放送やオンラインで行い、全校生徒が体育館に集まっての総会は４年ぶりであり、生徒の皆さんにとっては初の経験でしたが、各議事進行、質疑応答、目標・活動内容の承認まで、生徒自身の力でよく集中して、スムーズに総会を実施することができました。決議された活動目標、活動内容には、生徒会本部役員をはじめ、各委員会の皆さんの学校をよくして行こうとの思いが込められていると思います。会長をはじめとした役員の皆さんや各委員長の皆さんのリーダーシップのもと、全生徒の皆さんの力で、よりよい第二中学校を作っていきましょう。

◎　学校公開・部活動保護者会

昨年度は感染症拡大のために急遽中止とさせていただいた１学期の学校公開、部活動保護者会を無事に実施することができました。授業において、生徒の頑張っている様子を直にご覧いただくことができ、大変うれしく思います。部活動保護者会へのご協力もありがとうございました。

◎　修学旅行（校外学習等の総決算！）

２２日（月）から２４日（水）にかけて、３年生は修学旅行に行ってきました。この旅行では、事前学習や１，２年生の時の校外学習などでの経験を生かして、とても有意義な３日間を過ごすことができたと感じています。国内旅行の他、インバウンドも復活して、混雑などが心配されましたが、一部の寺社を除いてはそれほどの混雑もなく、計画に従ってスムーズに行動することができました。また、予報では雨も心配されましたが、天気にも恵まれ、全員、大過なく戻ってくることができました。

修学旅行が充実したものとなったのは、もちろん３年生の皆さん一人一人の頑張りがあったからこそですが、忘れてほしくないことは、この修学旅行の成功は、同行してくださった看護師の方や宿舎の方などお世話になった多くの方々のおかげでもあるということです。また本能寺のお坊さんの講話の中にもありましたが、決して少なくはない費用を出してくださり、日頃から支えてくださっている保護者の方々のおかげであるということです。感謝の気持ちは言葉で表すことができるほか、これからの生活における行動等でも表すことができます。この修学旅行での経験を「あの時は頑張った。あの時はよかった。あの時は…。」とすべて過去のものとするのではなく、これからの皆さんの成長につなげていってほしいと思います。それが、家族など周囲の方々への最大の感謝の表し方ではないでしょうか。

◎　一学期も残り半分

これからも、日頃の授業に真剣に取り組むと共に、行事などを通して成長していけたら素晴らしいと思います。生徒の皆さんが一学期の残りの日々も油断せず、一人一人のよさを発揮して、何事にも頑張ってくれることを期待しています。